

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	戦没者追悼事業(吉永)		コード	担当課	吉永市民福祉課 福祉係
			02-01-03-03	担当者	吉田 修
事業実施期間	平成17年度～				
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者(児)福祉			
	施策	交流の推進と組織づくり			

事業について	
目的	戦没者及び遺族に対し慰霊、非戦の意を表し、平和社会の構築を目指す。
対象 (誰のために)	備前市吉永町内の戦没者遺族
内容	戦没者追悼式を実施している。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
遺族参加者数	60 人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	300	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,390	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,690	一般財源等	2,690	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.25	人
結果指標①	結果指標名	遺族参加者数
	結果指標量	60
	単位	人
	対前年比	—
	事業費	2,690,000 円
	単当たりコスト①	44,833 円

結果指標②	結果指標名	
	結果指標量	
	単位	
	対前年比	—
	事業費	円
	単当たりコスト②	円

事業の成果	
成果指標名	追悼式遺族参加率
	式又は説明
	遺族参加数/遺族数(128人)
	17年度
成果指標量	46.9%
対前年比	—
到達目標値	現状の維持
	到達目標年度
	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:	戦没者の遺族を対象にした事業であり、内容等についても妥当である。 遺族会未加入の方がいるため、加入を促進し、追悼式の参加を促す必要がある。
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市民の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	実施について備前地域・日生地域・吉永地域のそれぞれで分割開催されているが、将来的には、式典を統一開催し効率化を図る必要がある。
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	この事業は、戦没者遺族の心の支えとして所期の目的を達成している。
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	戦没者追悼式については、備前地域、日生地域、吉永地域でそれぞれ行われている。将来的には統合を含め、内容の見直しをすることにより、コストの削減を図る必要がある	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	60人	結果指標量②
目標値	成果指標量	46.9%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	遺族会未加入者の加入促進	平成20年度	参加者の増加により、事業の充実が図られる。
効率性	市内式典の統一	平成20年度	コストの削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。